

令和 7 年度 学校関係者評価委員会 議事録 (1 回目)

実施日：令和 7 年 6 月 24 日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティール専門学校 校長）

熊谷美咲（平成 31 年度卒業生）

市川大介（指吸会計センター(株) 名古屋支店 リーダー）

田口 豊（愛知県理容生活衛生同業組合 副理事長）

梅崎 美和（(株)セイファート 東海ランチ シニアマネージャー）

順不同

欠席者 中川信子（名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ学院 校長）

オブザーバー

森山郁子（アリアーレビューティール専門学校 事務主任）

山口 孝（アリアーレビューティール専門学校 広報主任）

高橋秀典（アリアーレビューティール専門学校 教務主任）

委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 理容科・美容科 R7.4.1 現在 学生数報告
- (4) 令和 6 年度自己評価の報告
- (5) 令和 6 年度学校関係者評価委員による評価まとめ
- (6) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。

（詳細は後記のとおり）

(9) 閉会

終わりに、校長から令和 7 年度は第 2 回目を令和 7 年 11 月～12 月に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答]（順不同）

○田口 豊 委員

留学生の就職はどのような感じなのでしょう。サロンのお客さま及びそのお知り合いで外国人の方がいらっしゃり、理美容の学びはどうかと質問されることもあります。港区で中学校の校長を務めている方から、学校に外国籍の生徒が多くいるとの事。業界ではインバウンド集客に力を入れようとしているが、まずは外国人就労を解決しないと集客につながらないと思っています。外国人スタッフがいて、外国人客も当然入りやすいでしょうし、もう様々な分野で働いている外国人をよく見ます。

(学校側)：留学生クラス（トータルプログラム科）は理容師・美容師国家試験を目指すクラスではないので、就職先はホテルや工場、飲食店等さまざまです。あと、本人の母国等での学歴も就職先が決まる上で影響します。在留資格はほとんどの留学生が「技術・人文知識・国際業務」で就職します。学校の目標としては、入学時点では外国人美容師になるために必要な日本語能力試験 N2 をほとんど持っていないので、まずは週 2 回日本語の授業があるトータルプログラム科で技術を楽しみながら知り、2 年後理容科・美容科に進学され免許を目指してほしいと思っています。ただ外国人理容師は制度が存在しないので美容科進学が基本になります。中学校にも多くの生徒がいるということは、その保護者に永住権等、よりしっかりした在留資格があると思われます。就労制限がなかったりするので、ぜひ理容師という道も目指してほしいと思います。

○市川大介 委員

財務の項目で修繕の話が出ましたが、当然修繕には財源が必要になります。積み立てていく必要もあるし、他に使えないように拘束していく必要もあります。留学生のところですが、2 年生が 36 名で 1 年生が 7 名という事なので、来年は 36 名入学させないといけないという事でしょうか。収益事業や特別班も計画中との事ですが、実態はどのような状態なのでしょう。

(学校側)：保守修繕等に関しましては、中長期計画としてきちんと立案していかないといけないと思っています。2025.4 入学生アンケートにおいて本校への入学を決意させた「最も魅力的なこと」として設備面を選んだ比率がとても低く 6.7%しかない。老朽化だけでなく、魅力的な設備も考えた上で計画を立てる必要があると思っています。留学生クラスの入学ですが、総定員が 40 名（1 学年 20 名）で現在でも超過しております。監督官庁と相談して入学させており問題はないのですが、コロナ禍における入国制限が大きく、ちぐはぐな在籍者数になっております。入

学定員自体は 20 名なのでその辺りの生徒数は確保する必要があります。現在在校生やそれ以外の一般の方も受講できる「公開講座」があるのですが、ゆくゆくは土日や夜間等を想定した広がりができるといいなと思っておりませんが、マンパワーが足りず、まずは人材確保から考えないといけないと思っています。

○熊谷美咲 委員

学園新聞に 9 月開催の理美容甲子園の話題や選手名の掲載がありましたが、私も 6 年前にカットで出場しました。サロン勤務を通じて思うのですが、大会に結果を残すのも大事ですが、経験したことが今に生きていると感じます。ただ結果を残すと競技が楽しくなってくるので、卒業してからも続ける方が増えると思います。学生時代の競技経験から学校に要望するのは、他校のレベルがわからなかったのでのくらい練習が必要かわからなかった。もっと競技会を通じた他校との交流も検討するといいと思います。

(学校側)：愛知県内の各種競技大会も数が減って、アリアーレが学生大会以外で他校も交えた競技会に参加するのがなくなってしまいました。少人数制の学校ゆえ、内弁慶にならないよう積極的に外に出向く必要はあると思いますし、理容科に関してはアリアーレの方から他校に声掛けをしたり、主催者の都合もあるかと思いますが、働きかけをしていきたいと思っています。

○梅崎美和 委員

広報に関して SNS の運用面の話が出ましたが、SNS を外部委託したり等運用面で大変なことはよく耳にします。何か改善策等はお考えなのでしょうか。

(学校側)：高校生はさまざまな検索をインスタで行っているのが主流であり (TikTok だと中学生)、そこに向けての情報発信は今まで仕組みとして機能していなかったのですが、今年 5 月からは毎日投稿 (月曜日は事務、火曜日から金曜日は理容科・美容科) する形がようやく整いました。今はまだ、とにかく投稿するクセをしっかりとつける段階で中身に関しては特段取り決めがないのですが、オープンキャンパスへの集客のためという目的はしっかり持って、中身等も常に見直しを図っていきます。入学者アンケートで、アリアーレをはじめて知ったきっかけは何ですかという問いにトップが「親・その他の家族」の 36.7%で、SNS が 0%でした。さらなる認知度アップを考えていきます。

以上

記録：山口